

# 第7回新丸山ダム水源地域協議会 開催報告

- 令和8年2月27日に「第7回新丸山ダム水源地域協議会」を開催し、2市2町の魅力を高め、地域の魅力を継続的に高めるための地域振興策「魅力をつなぐプロジェクト」について、令和7年度の実施内容と来年度以降の行動計画「アクションプラン」の更新内容を確認しました。
- 今年度、全3回のワーキンググループで2市2町とダム関係機関で連携し検討を進めた「魅力をつなぐプロジェクト」の実施内容についてあらためて報告し、地域振興の取組状況（現状・将来像）について意見交換を行いました。



写真（観光×防災パンフレットを手に集合写真）

【水野瑞浪市長】2市2町には魅力的なグルメが数多く存在する。グルメ情報を切り口として、新丸山ダム周辺の魅力発信を強化すると良い。「今しか見ることのできない」新丸山ダムの工事現場について、より一層観光資源として活用していくことが望ましい。

【小坂恵那市長】先進的な技術を活用した工事現場を間近で見学することは、地元の子どもの地域への愛着醸成につながると考えている。木曾川下流域住民に向けて、ダムが下流域の住民の暮らしや安全をどのように支えているのかがわかる取組を進めていくことが重要である。

【古田八百津副町長（代理出席）】関西電力の「新・現・旧」の発電所と、新丸山ダムおよび丸山ダムといった「新・旧」のダムを連携させた取組を検討すると良い。新丸山ダム建設のための骨材製造プラントの跡地について、地域の将来像を見据えた活用方法を来年度以降の水源地域協議会を通じたWGでアイデアを頂きたい。

【渡辺御嵩町長】瑞浪市の飲食店が御嵩町のイベントに出店し、グルメを切り口として2市2町の連携強化につながり、取組を継続できると良い。下流域の事業者を対象とした見学会を実施し、環境面から自らの事業とダムとの関係について理解を深めてもらえると考えている。

【工藤関西電力(株)東海支社長】ターゲットを意識した情報発信方法を検討することが重要だと考えている。来年度は、流木を活用しコースター作成体験を開催し、地域の魅力発信につなげていきたいと考えている。

【今津木曾川水系ダム統管理事務所長】新丸山ダムの工事が進んでいる状況を好機ととらえ、取組を着実に進めていくことが大切である。新丸山ダム完成後も観光客の来訪を維持できるよう、2市2町の魅力を発信し、周遊する意義や楽しさを発信していくことが必要である。

【浅井新丸山ダム工事事務所長】今しか見ることのできない新丸山ダムの工事現場を積極的に活用していくことが重要である。インフラツーリズムの事例から、価格帯が高くても関心をもって参加する層が一定数存在することは参考になる事例であると考えている。



瑞浪市 水野市長



恵那市 小坂市長



八百津町 古田副町長  
【代理出席】



御嵩町 渡辺町長



関西電力(株)東海支社  
工藤支社長



木曾川水系ダム統管理  
事務所 今津所長



新丸山ダム工事事務所  
浅井所長